

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	品質管理
科目基礎情報						
開設学科	環境・バイオ科		コース名		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位				授業形態	講義
教科書/教材	1回で合格!QC検定3級テキスト&問題集					
担当教員情報						
担当教員	片山 圭子			実務経験の有無・職種	有・MR（臨床検査薬）	
学習目的						
品質管理とは、製品の品質はもちろん、組織で働く方の仕事への取り組み方や考え方を向上するための活動で、どの組織でも取り組むべき活動である。本講義では、QC七つ道具の作り方・使い方をほぼ理解し、改善の進め方の支援・指導を受ければ、職場において発生する問題をQC的問題解決法によって解決していくことができ、品質管理の実践についても、知識としては理解しているレベルに到達することを目的とする。						
到達目標						
本講義を学んだ者に求められる知識と能力は、基本的な管理・改善活動を必要に応じて支援を受けながら実施できるレベルである。具体的にはQC七つ道具については、作り方・使い方をほぼ理解しており、改善の進め方の支援・指導を受ければ、職場において発生する問題をQC的問題解決法により、解決していくことができ、品質管理の実践についても、知識としては理解しているレベルを到達目標として、品質管理検定試験3級の合格を目指す。						
教育方法等						
授業概要	データの取り方やまとめ方の基本とQC七つ道具の利用、管理と改善の進め方、基本的な管理・改善活動に関する事項などの品質管理検定3級試験の出題範囲について、解説と問題演習を行って授業を展開する。特に統計的品質管理の手法について学ぶことが重要である。					
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーと能動的な学習姿勢で授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	60%	試験を実施する			
	小テスト					
	レポート					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
	その他	30%	品質管理検定3級受験結果を考慮する			
授業計画（1回～8回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	データの取り方・まとめ方		データのサンプリング方法やまとめ方、代表値の意味や算出方法についてわかるようになる			
2回	QC7つ道具と新QC7つ道具		QC7つ道具、新QC7つ道具とその利用法について理解できるようになる			
3回	統計的方法の基礎		統計的品質管理手法の基本的な考え方についてわかるようになる			
4回	管理図		管理図の利用についての問題演習で合格レベルに達する			
5回	工程能力指数		工程能力指数の利用についての問題演習で合格レベルに達する			
6回	相関分析		相関分析に関して問題演習で合格レベルに達する			
7回	品質管理の実践分野		品質管理の実践分野について問題演習で合格レベルに達する			
8回	総合演習問題		品質管理検定3級試験に向けて合格できる実力をつける			